



2021年度年末手当シリーズ④

第2回交渉において満額回答を強く求める!

中央本部は11月5日年末手当第2回目の交渉に臨みました。第二四半期決算は赤字となりましたが、コロナ禍においても安全・安定輸送と質の高いサービスの提供、感染予防に取り組んでいるJR労働者の労苦に報いる基準内賃金の2.8ヶ月満額回答を強く求めました。

《交渉要旨》

(組合)対前年で営業費用980億円減少している。その内人件費は42%の41.1億円削減しており、とりわけ社員の賃金・手当削減に依存することは認められない。

(会社)単にコロナを赤字の原因に転嫁してはいけない。固定費が高いことも要因の一つ。人件費だけでコストコントロールを考えていない。設備投資などのコスト削減も行ってきた。

(組合)期末手当が生活費の一部であることを認識一致させてきた。今年度は昇給係数も減り退職まで大きく影響する。計画ローンなどもあり社員を不安にさせることはあってはならない。

(会社)支給水準が下がったことは認識している。一般論として赤字となれば生産部門の切り売りや閉鎖を行うことがあるが、当社は雇用を維持し、一定程度の昇給、夏季手当の支給を実施した。

年末手当満額回答実現に向けエールを受ける

厳しい状況下でも基本要求「基準内賃金の2.8ヶ月」満額回答獲得に向けJR労働者の団結を固めなくてはなりません。東日本ユニオン新潟地本は労働組合間の連帯を深めるために、年末手当のたたかい勝利に向けたエールを各労働組合へ送りました。私たちが送ったエールに対して11月4日、国鉄労働組合新潟地方本部より「2021年年末手当勝利に向けたメッセージ」を受け取りました。労働者の力を結集させて年末手当満額回答獲得に向けて共に奮闘する力強いメッセージを受けました。更なるJR労働者の連帯を職場から創り出しましょう!